

2018年度 (H30) 理学部 物理学科 新入生 履修ガイダンス・オリエンテーション



プログラム

時間：2018年4月4日(水) 13:30 - 17:30
場所：12号館 202室

13:30 - 14:20

ガイダンス

司会 荒畑 恵美子 准教授

- ◆ 主任挨拶・物理学教室の紹介 安田 修 教授
- ◆ 履修に関する注意 (「履修の手引」を見ながら) (松田 達磨)
- ◆ 学生生活上の諸注意 (10分休憩)

14:30 - 15:00

新入生オリエンテーション

- ◆ 先輩学生の話 「学生生活について」
- ◆ 担任制について

15:00 - 15:45

- ◆ スタッフ（教授・准教授）紹介と面談
・ 写真撮影 と 担任との第1回面談

16:00 - 17:30 (懇親会)

- ◆ 助教 ・ 新入生自己紹介

物理学教室の構成

() 内は2018年4月現在の教員数

教授：11名
准教授：10名
助教：10名
客員等：39名
(教授・准教授・研究員)

教員: 31名



素核宇宙理論

- 素粒子理論 (2)
- 高エネルギー理論 (1)
- 宇宙理論 (2)

理論

物性基礎理論

- 非線形物理 (2)
- 量子凝縮系理論 (3)
- 強相関電子系 (2)

粒子宇宙物理

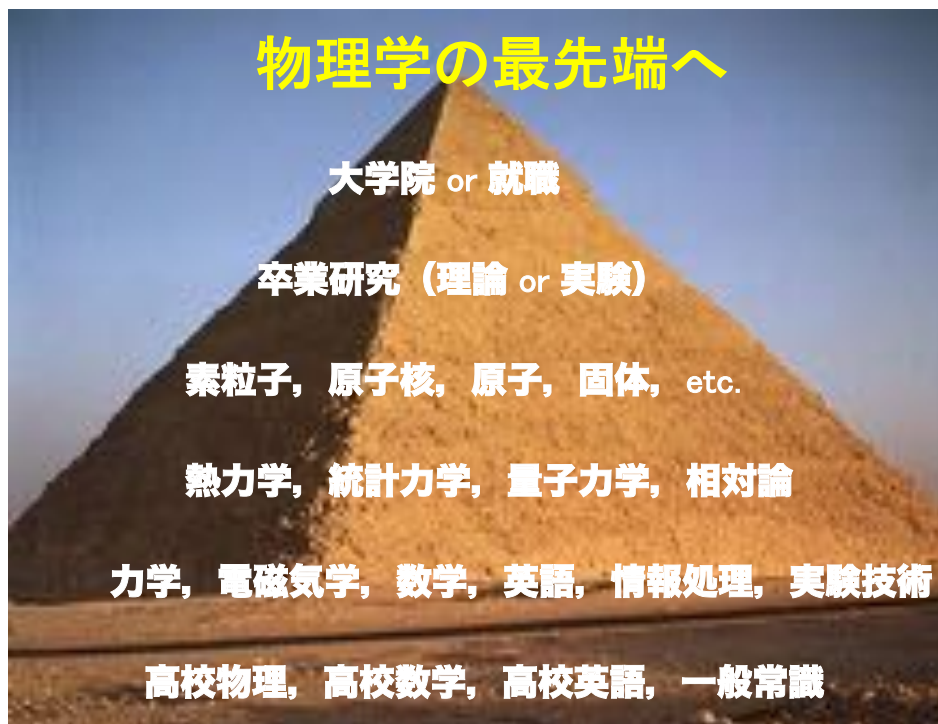
- 高エネルギー実験 (2)
- 原子物理実験 (1)
- 宇宙物理実験 (4)

実験

物性物理

- 電子物性 (3)
- ナノ物性 (3)
- 表界面光物性 (2)
- 粒子ビーム物性 (1)
- ソフトマター (1)
- 超伝導物質 (2)

スタッフ全員が国際的に第一線で活躍する研究者



物理は積み上げ型の学問
基礎無くして、最先端には届かない！

「履修の手引」の重要性

「履修の手引」 → **ルールブック** (履修に関わる事項を網羅)

- ✓ 入学時のルールは、卒業するまで変わらない。注)
- ✓ 次年度以降に改訂されても、皆さんには適用されない。注)
- ✓ 一部、上級生とは異なるルールもあるので注意！

**「履修の手引」を熟読することが、
学生生活を充実させることの第一歩！**

注)履修の手引きの変更は、学生に有利になることなどは即時変更適応となる場合もある。

- | | | |
|-----------------|--------------|----------|
| 1. 全学共通 (色付き部分) | p. 1 - 69 | 👉 午前中に説明 |
| 2. 理学部 | p. 140 - 164 | 👉 一部説明済み |
| 3. 物理学科 | p. 151 - 154 | |

「履修の手引」を参照しながら説明します。
メモ等を取りながら、注意深く聞いて下さい。

物理学科

		卒業要件	
全学共通科目	基礎ゼミナール	2単位	124単位以上
	情報リテラシー実践	2単位以上 (*1)	
	実践英語	8単位	
	未修言語科目		
	理系共通基礎科目	理系基礎科目の選択必修と合わせて14単位以上 (*2、*3)	
	保健体育科目		
	キャリア教育科目		
	都市・社会・環境		
	文化・芸術・歴史		
	生命・人間・健康		
教養科目群	科学・技術・産業総合ゼミナール	14単位以上	
	人文科学領域		
	社会科学領域		
	自然科学領域		
基礎科目群	健康科学領域		
	理系基礎科目	6単位以上 (*2)	
	必修科目	42単位 (*2、*5)	
	選択必修科目	26単位以上 (*5)	
専門科目群	他学部・他学科の専門教育科目		
		74単位以上 (*4)	

卒業要件 **124** 単位以上

学士の学位取得(卒業)要件を満たさなければならない

- ✓ 全学で定められた必修科目
- ✓ 各学科で定められた必修科目

- *1 必修科目：情報リテラシー実践Ⅰ
- *2 必修科目は標準履修課程表を参照のこと
- *3 一部の科目は卒業単位に含めない。(詳しくは物理学科「履修上の注意」を参照)
- *4 専門教育科目群理系基礎科目の選択必修を除く
- *5 早期卒業の場合は必修44単位、選択必修科目24単位以上

※未修言語科目：第二群と第三群を合わせて8単位まで算入可
 ※単位互換科目および分野横断プログラムの科目は、卒業単位には含まない

1年間に履修登録できる単位の上限 50 単位
 (※ ただし教職科目は除く)

前・後期のバランス大事

(前期に登録し過ぎないこと！)

以降のスライドで説明

- *1 必修科目：情報リテラシー実践Ⅰ
 - *2 必修科目は標準履修課程表を参照のこと
 - *3 一部の科目は卒業単位に含めない。(詳しくは物理学科「履修上の注意」を参照)
 - *4 専門教育科目群理系基礎科目の選択必修を除く
 - *5 早期卒業の場合は必修44単位、選択必修科目24単位以上
- ※未修言語科目：第二群と第三群を合わせて8単位まで算入可
 ※単位互換科目および分野横断プログラムの科目は、卒業単位には含まない

物理学科標準履修課程表

区分	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
全学共通科目	基礎ゼミナール (必修)	基礎ゼミナール		
	情報リテラシー実践	情報リテラシー実践Ⅰ		
	実践英語 (必修)	実践英語Ⅰa 実践英語Ⅰc	実践英語Ⅰb 実践英語Ⅰd	実践英語Ⅱa 実践英語Ⅱc
	未修言語科目	第二群言語科目 (通年) を推奨する		
	必修科目	微分積分Ⅰ 線形代数Ⅰ	微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ	
	選択必修科目		解析入門Ⅰ	解析入門Ⅱ
	保健体育科目			
	キャリア教育科目			
	教養科目群	1科目	2科目	4科目
	基礎科目群			
専門教育科目群	必修科目	力学Ⅰ	力学Ⅱ	物理学実験第一
	選択必修科目	化学概説Ⅰ	化学概説Ⅱ	生物学概説ⅠA 生物学概説ⅡA
	必修科目	物理学演習Ⅰ 物理学基礎	物理学演習Ⅱ 熱・量子基礎	電磁気学Ⅰ 量子力学Ⅰ
	選択必修科目	物理セミナー	物理学演習Ⅲ 物理学実験第二	物理学演習Ⅳ 物理学実験第二
			物理数学Ⅰ 物理測定法	物理数学Ⅱ 物理測定法
専門教育科目群	必修科目	熱・統計力学Ⅰ 物理学実験第三	物理学特別研究Ⅰ	物理学特別研究Ⅱ
	選択必修科目	量子力学Ⅱ 物理学演習Ⅴ 連続体基礎 物理物理学基礎Ⅰ 物理情報処理法 特殊相対論	量子力学Ⅲ 熱・統計力学Ⅱ 物理学演習Ⅵ 物理物理学基礎Ⅱ 計算物理学* 宇宙物理学* 光学 原子核・素粒子 物理学実験第四 現代物理学序論	一般相対論* 原子核物理学* 原子物理学* 粒子物理学* 物性物理学Ⅰ* 素粒子物理学* 物理学特殊講義A 物理学特殊講義B 物理学学外体験実習

✓ 4年生(卒業研究生=物理学特別研究の受講)になる条件

106 単位以上

【内必修科目46単位、選択必修12単位以上】(p. 151)

✓ 学士の学位取得(卒業)要件

124単位以上

【内必修科目56単位、専門科目群選択必修26単位以上】

4年生は、結構忙しい！

- ・卒業研究やゼミ
- ・院入試の勉強、または就職活動
- ・海外派遣
- ・教育実習・介護実習(教職課程等を履修する人)

*は大学院との共通講義。
 物理学特別講義A,Bおよび物理学学外体験実習の対象学年は開講時に定める。

p.45 キャリア教育科目・教養科目群・基盤科目群



キャリア教育科目、教養科目群、基盤科目群の科目一覧

キャリア教育科目					
キャリア形成	キャリア形成演習	現場体験型 インターンシップ	学びのデザイン： 理論と実践	ボランティアと リーダーシップ	国際交流概論
教養科目群					
都市・社会・環境	文化・芸術・歴史	生命・人間・健康	科学・技術・産業	総合ゼミナール	
アジア・アフリカ社会論 社会と福祉 生活と福祉 日本国憲法 情報社会と法 都市の仕組みと仕事 官庁の仕組みと仕事 生態と環境 動物の生態と多様性 自然と社会と文化 地域環境の人文地理 都市空間の人文地理 都市の技術 エネルギー化学入門 環境調和化学入門 観光科学概論 Tourism theories and practice 多摩の里山学 都市政策科学概論 社会と経営 特定社会活動	社会意識と社会構造 心の哲学 西洋古典学A 西洋古典学B 都市の歴史 日本の歴史と社会・文化 アジアの歴史と社会・文化 西洋の歴史と社会・文化 文明と歴史 歴史学入門 考古学入門 表象文化論基礎 文学概論 日本語と日本文学A 日本語と日本文学B アジアの言語と文化A アジアの言語と文化B 英語圏の文化 ドイツ語圏の文化 フランス語圏の文化 植物の多様性と進化 進化生物学 科学史B 日本語と社会と文化 Japanese Language and Society The Japanese Language Global Mindset Intercultural Communication and Interaction	臨床心理学概論 心の科学 ことばの科学 生命を支える化学物質 現代社会・化学の役割 細胞の世界 ゲノム科学 神経生物学 人間生物学 先端生命科学入門 スポーツ健康と脳科学 エクササイズ科学 健康スポーツ科学 健康の栄養学 行動生理学 生活習慣と栄養 認知と行動 生体機能調節学	科学哲学 地球環境と人類の歴史 日本の産業と企業 現代物理学の考え方 素粒子から宇宙 科学史A 宇宙地球物質の化学 現代分子科学 バイオテクノロジー 大気と水の循環を学ぶ 大地の成り立ちを学ぶ 自然災害と社会 ツーリズム産業論 人工物のテクノロジー 生体と機械 デザインと生活 数値としてのデータサイエンス	総合ゼミナール	

合計 **14** 単位以上
(選択必修)

1科目(2単位)

⇒ **最低 7** 科目

基盤科目群			
人文科学領域	社会科学領域	自然科学領域	健康科学領域
人間・文化・社会 言語・思考・行為 社会学A 社会学B 文化人類学A 文化人類学B 社会福祉学 心理学概論 心理学研究法 教育学 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B 論理学A 論理学B	法学入門 民事法入門 刑事法入門 政治理論入門 現代政治入門 入門マクロ経済学 入門ミクロ経済学 経済史・思想入門 経営学入門 会計学入門 統計学I 統計学II デザインマネジメント概論	数学の歴史 計算の理論 現代的教育のための確率統計 建築文化論 環境と建築 情報科学入門 エアフレームデザイン概論	人間発達学 医療統計学 移動の人間工学 医療と情報 保健医療概論 リハビリテーション概論

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

(7/26)

p.131, 130

物理学科標準履修課程表



物理学科標準履修課程表

区	分	1 年前期	単位	1 年後期	単位	2 年前期	単位	2 年後期	単位
全学共通科目	基礎ゼミナール (必修)	基礎ゼミナール	2						
	情報リテラシー実践	情報リテラシー実践 I (必修)	2						
	実践英語 (必修)	実践英語 I a	1	実践英語 I b	1	実践英語 II a	1	実践英語 II b	1
		実践英語 I c	1	実践英語 I d	1	実践英語 II c	1	実践英語 II d	1
	未修言語科目	第二群言語科目 (通年) を推奨する		8					
	必修科目	微分積分 I	2	微分積分 II	2				
		線形代数 I	2	線形代数 II	2				
	選択必修科目	(専門教育科目群理系基礎科目の選択必修科目と合わせて 6 単位以上選択必修)				解析入門 I	2	解析入門 II	2
	保健体育科目								
	キャリア教育科目								
専門教育科目	教養科目群	1 科目	2	2 科目	4	2 科目	4	2 科目	4
	基盤科目群	(教養科目群・基盤科目群・キャリア教育科目から合計14単位以上選択必修)							
	必修科目	力学 I	2	力学 II	2	物理学実験第一	2		
	選択必修科目	化学概説 I	2	化学概説 II	2	生物学概説 I A	2	生物学概説 II A	2
		(理系共通基礎科目選択必修科目の単位に合算)							
	必修科目	物理学演習 I	2	物理学演習 II	2	電磁気学 I	2	電磁気学 II	2
		物理数学基礎	2	熱・量子基礎	2	解析力学	2	量子力学 I	2
						物理学演習 III	4	物理学演習 IV	4
						物理数学 I	2	物理学実験第二	2
	選択必修科目	物理セミナー	2			物理数学演習	2	物理測定法	2
専門教育科目	必修科目	熱・統計力学 I	2			物理学特別研究 I	4	物理学特別研究 II	4
		物理学実験第三	4						
	選択必修科目	量子力学 II	2	量子力学 III	2	一般相対論*	2	流体力学*	2
		物理学演習 V	2	熱・統計力学 II	2	原子核物理学*	2	物性物理学 II *	2
		連続体基礎	2	物理学演習 VI	4	原子物理学*	2		
		物性物理学基礎 I	2	物性物理学基礎 II	2	粒子線物性*	2		
		物理情報処理法	2	計算物理学*	2	物性物理学 I *	2		
		特殊相対論	2	宇宙物理学*	2	素粒子物理学*	2		
						光学	2		
						原子核・素粒子	2	物理学特殊講義 A	1
専門教育科目						物理学実験第四	4	物理学特殊講義 B	2
						現代物理学序論	2	物理学学外体験実習	1

「履修上の注意」(p. 151)

履修のモデルプラン

物理は積み上げ型

指定年次に履修

物理学科必修 23 科目

- 物理学実験第一
- 物理学実験第二
- 物理学実験第三
- 物理学実験第四

(※原則)

順番に履修

卒業の遅れにつながる

演習：講義とリンク

原則、同時に履修する

□内の数字の合計は 114 単位

卒業単位 124 単位 より少ないので

各自必要な単位を修得する必要がある。

*は大学院との共通講義。

物理学特殊講義 A・B および物理学学外体験実習の対象学年は開講年に定める

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

(8/26)

物理学標準履修課程表

48

区 分	1 年前期	単位	1 年後期	単位
全学共通科目群	基礎ゼミナール (必修)	基礎ゼミナール		
	情報リテラシー実践	情報リテラシー実践 I (必修)		
	実践英語 (必修)	実践英語 I a	実践英語 I b	1
		実践英語 I c	実践英語 I d	1
	未修言語科目	第二群言語科目 (通年) を推奨する		8
	理系共通基礎科目	微分積分 I	微分積分 II	2
		線形代数 I	線形代数 II	2
	選択必修科目	(専門教育科目群理系基礎科目の選択必修科目)		
	保健体育科目			
	キャリア教育科目			
専門教育科目群	教養科目群	1 科目	2 科目	4
	基盤科目群	(教養科目群・基盤科目群・キャリア教育)		
	理系基礎科目	力学 I	力学 II	2
	選択必修科目	化学概説 I	化学概説 II	2
専門教育科目群	必修科目	物理学演習 I	物理学演習 II	2
		物理数学基礎	熱・量子基礎	2
	選択必修科目	物理セミナー		

青枠内の全科目の合計 **48** 単位

履修登録単位の上限

年間 **50** 単位 (p. 142)

- 注意点** ✓ 前期と後期の合計
(前期に申請し過ぎない)
- ✓ 教職科目などの例外あり
- ✓ Webでの入力に注意

p.3

【参考】文部科学省の取り決め

1 単位 = 30時間の自学自習
 50単位 = 毎日6時間の自学自習
 (50 x 30 h/240day = 6.25 h/day)

4年間での単位修得ペース

✓ 物理学科では、3年までは自動的に上がることができる。

- ・ただし **年平均で20単位** 取らないと成績不振者扱い
 面談等を行った上、**命令退学の制度** が適用される場合がある。(p4, 5)

✓ 4年生(卒業研究生=物理学特別研究の受講)になる条件**106** 単位以上 【内必修科目**46**単位、選択必修**12**単位以上】 (p. 151)✓ 学士の学位取得(卒業)要件**124**単位以上 【内必修科目**56**単位、専門科目群選択必修**26**単位以上】
(p. 151)

※ 詳しい条件は省略しますので、「履修の手引」をよく読むこと

- 3年終了と同時に大学院進学(**早期卒業**)も可能
- **ギリギリを狙わないこと！もったいない！留年の危険！**
 意外にもよくある問題

3年修了 → 大学院1年 (入学)

- ✓ 2年次までの成績が優秀: **GPA 3.50** 以上なら予備申請可
- ✓ 3年次の最初に予備申請 → 特別の履修指導
- ✓ 大学院入学試験に合格、あるいは口頭試問

GPA とは? (p. 62, 63)

Grade Point Average

👉 次のスライドで説明

Grade Point Average

成績表示	成績証明書の表示 (和文) (英文)		単位	程 度	100点法 (目安)	Grade Point
5	秀	S	○	非常に優れている	90点以上	4.0
4	優	A	○	優れている	80~89点	3.0
3	良	B	○	普 通	70~79点	2.0
2	可	C	○	やや劣る	60~69点	1.0
1	表示せず	表示せず	×	劣 る	59点以下	0.0
0	表示せず	表示せず	×	評価の対象にならない		0.0

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たGrade Point})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

(小数点第3位以下で切捨て)

- ✓ 試験で落ちて、途中で放棄しても **GP = 0**
- ✓ 履修申請して、途中で放棄すると **GPA** としては損
- ✓ **GPA** を意識し過ぎて、せっかくの学びの機会を無駄にしないこと

GPAが使用される場面

- ・ 早期卒業
- ・ **研究室配属** (卒業研究テーマ・進路に関わる)
- ・ **大学院入試の筆記試験免除**
- ・ 研究等に関わる海外派遣
- ・ 最優秀学生の表彰
- ・ **就職活動** → 企業側の判断材料として使われる場合がある

履修取消制度

授業内容が、学修したいと思っていた内容と異なっていた場合や、授業を理解する上で必要となる知識が不足していた場合に、学期途中のあらかじめ定められた期間に履修登録の取消しを可能とする。ただし、取消しと同時に別の科目を履修登録することはできない。また、履修取消は、無制限に認められるわけではないので注意すること。詳細は掲示により周知する。理系共通科目や必修科目等を除く2科目

制度の対象となる授業科目

全学共通科目

教養科目群（総合ゼミナールは除く）、基盤科目群、キャリア教育科目、保健体育科目（身体運動学のみ）のうち、集中講義以外の授業科目が対象となる。ただし、キャリア教育科目のうち、現場体験型インターンシップはやむを得ない事情であると大学が認めた場合に限り、取消し可能とする。その他の対象科目、取消し可能な科目数、申請日程等の詳細については、教務課の掲示を確認すること。

専門教育科目

学部によって実施の有無等が異なるため、学部の掲示を確認すること。理工は無し

履修登録単位の上限
との関係について

本制度を利用して履修を取消した科目の単位数は、当該年度の履修登録単位数には含まれない。

物理学科の専門科目は履修取り消しできない！

履修指導の対象者

成績不振者に対する措置

入学後の通算修得単位数が、在学年数別最低修得単位数に満たない場合は、年度末に履修指導を受ける。その単位数は、下表のとおりである。
ただし、休学期間のある者の在学年数は、休学期間を除いて通算される。

在学年数別最低修得単位数

在 学 年 数	1 年	2 年	3 年	4 年以上
最低修得単位数	20単位	40単位	60単位	80単位

命令退学

以下の要件に該当する者は、成業の見込みなしとして、年度末に退学を命じる（命令退学）。

- (1) 入学後の通算修得単位数が、在学年数に応じ、下表に示す単位数に満たない者。
ただし、休学期間のある者の在学年数は、休学期間を除いて通算される。

在 学 年 数	2 年	4 年	6 年
通算修得単位数	30単位	60単位	90単位

- (2) 入学後 6 年を経過し、年次修了判定により 3 年次に進級できない者。
(3) 入学後 7 年を経過し、年次修了判定により 4 年次に進級できない者。

成績・履修について



大学トップページからたどる方法

学生生活に必要な情報にアクセスできる。



成績・履修



- ✓ 半期(前・後期)ごと
- ✓ 成績は保証人にも通知 (p. 62)

特別な履修申請・登録について



《1年次に関係するものをピックアップ》

- ✓ 抽選・先着順：基礎ゼミナール (p. 13)
- ✓ 自動登録：情報リテラシー実践Ⅰ (p.14 - 15)
第一言語科目 (必修) (p.16 - 30)
- ✓ クラス指定科目(p.9 - 10)：

学修番号順又はコース別にクラス編成を行い、
定められた曜日・時限の指定されたクラスで受講(履修)する

情報リテラシー実践Ⅰ (p.14 - 15)
微分積分、線形代数(数理科学コース提供)
一般化学、化学概説、化学実験(化学コース提供) } (p.31-35)

- ✓ 「履修申請カード」により履修申請する科目 (p. 9)
化学実験 = 自然化学実験(化学) 教職科目

化学実験（自然科学実験(化学)）について



☑ 物理は1年次に履修

「自然科学実験(化学)」→「中学校一種免」の必修科目

※ 教職志望の人は「化学実験」ではなく、上記の科目名で申請すること。
(授業番号が異なるので注意！)

☑ 「履修申請カード」が必要 (Web申請できない科目)

☑ クラス指定：**cクラス** 前期・木曜 3-4限 (p. 9 及びp.35)

- 以下のこと、掲示で確認すること！ -

- **履修申請** 4月9日(月) 12:00 - 13:30 と 16:20 - 17:00
場所：教養化学実験室 8号館 385室
注意：必要事項を記入した履修申請カードを持参
- **実験開始** (テキスト、白衣など持参すること)
日時/場所： 4月12日(木) 13:00 より /8号館 385室

化学実験（自然科学実験(化学)）について



化学実験及び自然科学実験（化学）の受講希望生へ

2018.04.01

●化学実験および自然科学実験（化学）は、**WEBで履修申請ができない特別申請科目**です。独自の履修申請（時間割に②のマークがある）が必要です。指定されたクラス（学年）で受講してください。（履修の手引き 9 ページおよび 35 ページを参照）

●**履修申請手続き** 日 時 **4月9日（月）** 12時～13時30分まで、および16時20分～17時まで
受付場所 化学教養学生実験室 8号館 385

●**持参するもの** 履修申請カード（指定科目用） ※必要事項を記入しておくこと

注・事故防止のため、受講者数に上限を設ける必要のある**特別申請科目**
ですから、**後期に受講を希望する人も、4月9日に履修申請手続きを行ってください。**

●**指定のクラスは次の通りです。**（履修の手引き 35 ページ参照）

	時 間	対 象 学 生
b クラス	前期 水 3～4 限	機械工学 2 年、都市基盤環境 2 年
c クラス	前期 木 3～4 限	数理学 1 年、物理 1 年、電気情報システム 1 年、地理環境 2 年
a クラス	後期 木 3～4 限	化学 1 年
d クラス	後期 金 3～4 限	生命科学 1 年、航空宇宙 1 年、経営システムデザイン 2 年

●**クラス指定の発表**

4月10日（火）に、教養部棟のインフォメーションギャラリーの理工学系の掲示板、及び8号館385の扉に受講クラスを掲示する。

●**ガイダンスの日程&実験開始日**（この日から実験を始めます）

前期	化学実験 b 自然科学実験（化学）	（4月11日(水) 午後1時より）
	化学実験 c 自然科学実験（化学）	（4月12日(木) 午後1時より）
後期	化学実験 a	（10月4日(木) 午後1時より）
	化学実験 d 自然科学実験（化学）	（10月5日(金) 午後1時より）

いずれも 8号館 385 化学教養学生実験室で行なう。

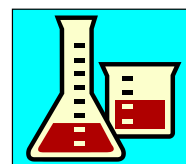
教科書…「化学実験」東京大学出版会、実験衣（白衣）、実験ノート、筆記具、安全メガネを持参すること。

指定された学年に、指定されたクラスで受講してください。

なお、化学実験および自然科学実験（化学）は化学コースの提供する全学共通科目なので、掲示はインフォメーションギャラリーの理工学系の掲示板に掲示する。

問い合わせ先 小林（8号館385a…内線3462 kihei@tmu.ac.jp） 田岡（8号館476…内線3536 mango@tmu.ac.jp）

理工学系化学コース



物理学教室の先生による最先端の研究紹介

必修ではないが（選択必修）原則、履修すること。

4/11	空間、時間、相対論	（宇宙理論、政井）
4/18	結晶中の電子がもたらす多彩な物性	（電子物性、青木）
4/25	日常にあふれる物理とソフトマター	（ソフトマター、栗田）
5/ 2	素粒子論入門	（素粒子理論、安田）
5/ 9	偶然と必然の物理学	（非線形物理、首藤）
5/16	X線 γ 線で見える宇宙	（宇宙実験、大橋）
5/23	相転移・臨界現象	（強相関電子論、服部）
5/30	新しい超伝導体の探索	（超伝導物質、水口）
6/ 6	物性物理入門	（粒子ビーム物性、門脇）
6/13	The dark side of the Universe	（高エネルギー理論、ケトフ）
6/20	宇宙と原子	（原子物理実験、田沼）
6/27	ミクロの世界を探索～素粒子実験のいま～	（高エネルギー実験、角野）
7/ 4	物理学とナノサイエンス	（ナノ物性、宮田）
7/11	極低温の世界～超流動現象～	（量子凝縮系理論、荒畑）
7/25	構造と物性	（表界面・光物性、柳）

* 注意 7/18 には補講をしません。

日程や講演者の変更があれば、メールや物理HPでアナウンスします。

教員免許と学芸員資格

履修の手引 別冊「教職課程の履修概要」

p. 2-10, p. 29-30

教職ガイダンス 4/3(既に終了)、教職履修面接 4/5(木)
履修希望者は、教務課の「教職」の掲示を確認すること。

履修の手引 別冊「学芸員資格取得要領」

p. 53-60（詳細は教務課に相談）

博物館実習受講に関するガイダンスに参加すること。

両者とも標準履修課程表にないたくさんの単位修得が必要。
年間50単位の制限外となる場合がある。

※教育実習には、「**学生教育研究災害傷害保険**」と「**学研災付付帯賠償責任保険**」（どちらも学生課で対応）の加入、**定期健康診断**の受診が必須。教職を取らない人も、保険の加入を強く推奨する。

教務課のホームページ (学内者専用)



<http://www.kisokyo.tmu.ac.jp/kyomu/index.html>



Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

(21/26)

4月の主な予定 (2018)



- | | |
|----------------|---|
| 4/2 (月) | 英語クラス編成テスト(学生証配布) |
| 4/3 (火) | 基礎ゼミナールガイダンス・履修ガイダンス (「履修の手引」等配布)
基礎ゼミナール Web申請 (抽選登録) 9:00～
情報リテラシー実践Ⅰ クラス発表 9:00～ |
| 4/4 (水) | 理学部 物理学ガイダンス、オリエンテーション |
| 4/5 (木) | 全体履修相談 15:00 - 17:30 6号館2階・3階 |
| 4/6 (金) | 授業開始
履修申請カード提出(指定科目) ～ 12日(木)
個別履修相談(学科別) 13:00～14:30 8号館 580室 担当：荒畑 |
| 4/8 (日) | 入学式 |
| 4/9 (月)～13 (金) | 学生定期健康診断 10:00～18:00 7号館スタジオ101 |
| 4/10 (火) | 基礎ゼミナールクラス発表 10:25～
基礎ゼミナールWeb申請 (先着順) (16:15 ～ 12日(木) 14:00) |
| 4/11 (水) | 個別履修相談(学科別) 13:00～14:30 8号館 580室 担当：荒畑 |
| 4/13 (金) | 基礎ゼミナール授業開始 |
| 4/17 (水) | Web 履修申請開始 (～ 4/23(月)まで) (自宅あるいは学内のPCから)
指定科目の確認開始 (～ 4/24(火)17:00) |
| 4/24 (火) | 履修申請の最終確認とWeb修正&窓口修正締め切り (17:00まで)
※ 余裕を持って早めに！ 全体の確認を忘れないこと！ |

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

(22/26)

- ✓ 大学のホームページの情報を過信しない。 **掲示が基本。**
- ✓ 自動二輪での入構には申請，自転車には届出が必要。
- ✓ もしも，セクハラ，アカハラが起きたら相談員へ。
- ✓ 歩行喫煙は禁止。タバコが吸えるのは喫煙所のみ。
- ✓ 学生も社会の一員。公共のルールやマナーを守ること。
- ✓ 通学定期の不正使用は，学生割引制度をも揺るがす。
- ✓ 悪徳商法，反社会的宗教団体， **自己啓発セミナー (キャリアコンサルティング)** などに注意。妙にうまい話には乗らないこと。
- ✓ 定期健康診断 (4月9 -13日)
- ✓ **未成年の飲酒**は誘われても断ること。

学生相談室

http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html

首都大 Top page



学生生活



学生相談について

無料



The screenshot shows the 'Student Consultation Room' page of the Tokyo Metropolitan University Student Support Center. The page is titled '学生相談室' and includes a navigation bar with links to '学生課', '健康支援センター', 'ボランティアセンター', 'キャリア支援課', 'サイトマップ', and 'リンク'. The main content area is divided into two columns. The left column contains links for '相談室TOP', '相談したいとき', and '『学生相談室』利用案内'. The right column contains the '『学生相談室』利用案内' text, which states that the center provides free consultation for students and is confidential. Below this, there is a table with contact information, including the address (〒192-0397 東京都八王子市東大沢1-1) and phone numbers. The table also lists the staff members: 渡部 みる (教員), 村松 健司 (教員), 鈴木 浩吉 (教員), and 中村 実花 (教員). At the bottom, there is a section titled 'たとえば、こんなときに...' which lists various issues that students can consult about, such as academic difficulties, financial problems, and personal issues.

大事なことをもう一度確認



- ✓ とにかく「履修の手引」を熟読すること
- ✓ 履修申請のWeb登録と確認を忘れずに
申請：4月17日(火)～4月23日(月)、確認：24日(火) 17:00まで
- ✓ 掲示 (インフォメーションギャラリー) に注意

相談窓口

- ・ 履修関係 - 教務課
 - 荒畑 恵美 (物理・基礎教育部会委員)
 - (全体) 4月 5日(木) 15:00～17:30 6号館 2・3階
 - (学科別) 4月 6日(金) 13:00～14:30 8号館 580室
 - (学科別) 4月11日(水) 13:00～14:30 8号館 580室
 - ※ ガイダンスで既に説明した内容について質問に来ないように！
- ・ その他 - 担任教員

担任制度について



4～5名程度の新入生 (学修番号順)

1年次に3回予定

- ・ 今日、
- ・ 5月中旬～下旬
- ・ 10月下旬

2名の教授・准教授 (理論系と実験系)

一人で抱え込まずに、気軽に相談して下さい。

- ・ 授業についていけない。
- ・ 高校 (予備校) までの授業と違って戸惑う。
- ・ 自分に足りないものが判らない。
- ・ 進路が決められない。
- ・ 学業の悩み, 人生設計, 将来への不安, etc.
- ・ 留学等に関する相談 (推薦書が必要等)